



貸本・書肆

Rental books / Publishers and bookstores

略歴

- | | |
|-------------------------|---|
| 江戸初期
(17 世紀後半) | 「書林風月堂（風月堂孫助）」が本町一丁目（現・中区丸の内付近）で創業。 |
| 1687 年 | 松尾芭蕉が「風月堂（風月堂孫助）」に立ち寄る。店名に感銘を受け、のちに『笈の小文』に収録される句を贈った逸話が残る。 |
| 1704 年 | 朝日重章の日記『鸚鵡籠中記』に「当地の本屋孫介」として風月堂が登場。 |
| 1765 年または
1767 年 諸説有 | 大野屋惣八（のちの貸本屋「大惣」）が名古屋長島町で創業。当初は薬屋等兼業だったが、後に日本一の蔵書数を誇る巨大貸本屋となる。 |
| 1776 年 | 風月堂で奉公していた片野直郷が「永楽屋東四郎（永東）」を開業。号は東壁堂。尾張藩の藩校「明倫堂」の御用達に。江戸の蔦屋重三郎とも交流。 |
| 江戸後期
(19 世紀前半) | 滝沢馬琴が名古屋を訪問。「書肆は風月堂、永楽屋。貸本屋は胡月堂（大惣のこと）」と激賞し、名古屋の出版・貸本文化の全盛期が示される。 |
| 1814 年 | 永楽屋東四郎（2 代目の頃）が、葛飾北斎の『北斎漫画』初編を名古屋で出版。大ヒット。 |
| 明治時代
(19 世紀末～) | 近代化の波に伴い、「風月堂」「大惣」が相次いで廃業。大惣の 2 万冊を超える貴重な蔵書は国立国会図書館などに引き継がれ散逸を免れた。 |

参考／『北斎漫画十五編』東壁堂片野東四郎 1878 年
『貸本屋大惣』貸本文化研究会編 貸本文化研究会 1982 年
『名古屋の出版 江戸時代の本屋さん』名古屋博物館 1981 年

Rental books / Publishers and bookstores (1687-)

In 1687, Matsuo Basho visited Fugetsu-do, a bookstore that opened in Nagoya during the early Edo period. In 1768, the rental bookstore "Daiso" was founded. At that time, Nagoya was home to a rental bookstore that was said to have the largest collection of books in Japan. Eirakuya Toshiro Shoten, which is said to have been founded in 1776, prospered after planning and publishing "Hokusai Manga."

ジャンル / 名古屋発文芸

Literary works originating in Nagoya

名古屋市収蔵の資料

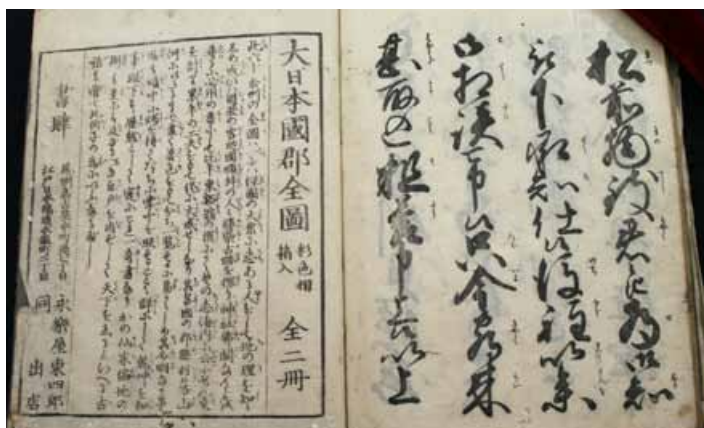
／貸本・書肆

(一部掲載；収蔵先 文化のみち二葉館)

Collection related to Rental books / Publishers and bookstores in Nagoya City. Storage location: Cultural Path Futaba Museum, City of Nagoya.



←「御家正統 永楽用文章 尾張 東壁堂蔵」行事や招待などの際にどう祝い、どう挨拶するのが良いかなどのマナー本のようなもの。



←最終ページ「広告」欄には「江戸日本橋」の表記が有り、永楽屋東四郎が出店していたことがわかる。



店舗名	江戸時代の場合	現在の住所（目安）と位置の目印
風月堂（風月堂孫助）	本町一丁目	名古屋市中区丸の内3丁目（本町通沿い、桜通の「桜通本町」交差点から少し北へ進んだ東側付近）
永楽屋（永楽屋東四郎）	本町筋伝馬町北入	名古屋市中区錦2丁目13（本町通沿い、「袋町通」と「錦通」の間。現在は「永楽屋東四郎跡」の案内板が立っています）
大惣（大野屋惣八）	伝馬町長島町角	名古屋市中区錦2丁目（長島町通沿い、錦通の1本北にある「伝馬町通」との交差点角付近）

参考／『貸本屋大惣』貸本文化研究会編 貸本文化研究会1982年
『名古屋の出版 江戸時代の本屋さん』名古屋博物館1981年

上記資料の閲覧を希望される方は、[文化芸術推進課](#)または[文化のみち二葉館](#)までお問い合わせください。
なお、学術研究または教育普及目的の場合にのみ閲覧が可能で、所定の手続きが必要です。